

お知らせ

記者発表資料	平成30年 7月12日
配布日時	17:30

■ 同時発表先：

合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

【災害対策情報】

榎川における泥流氾濫の現地調査結果について

上記について、別紙のとおり、昨日7月11日（水）に行いました、榎川（安芸郡府中町）における泥流氾濫の現地調査結果をお知らせいたします。

【問い合わせ先】

（土砂災害専門家の現地活動について）

国土交通省 国土技術政策総合研究所 ☎（029）－864-7579（代表）
土砂災害研究部 深層崩壊対策研究官

さくら い わたる
桜 井 亘 （内線 3912）

（土砂災害全般について）

国土交通省 中国地方整備局 ☎（082）－221-9231（代表）

河川部 河川保全管理官 たけ べ まさ み
武 部 真 実 （内線 3519）

☎（082）－511-6213（直通）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 いわ した やす ひさ
岩 下 恭 久 （内線 2117）

企画部 環境調整官 いの うえ かず ひさ
井 上 和 久 （内線 3114）

☎（082）－511-6009（直通）

榎川における泥流氾濫の現地調査結果

- 泥流の発生源は、流域上部の林道盛土付近で発生した崩壊である（写真1）。
- 崩壊発生の要因として、これまで経験したことが無い大量の降雨により、増水してあふれた谷の流水等が盛土部に徐々に浸透し土の強度が低下したため、崩壊が発生して泥流となったと推定される。
- 今後の二次災害の危険性として、大雨により、崩壊斜面内に残存している土砂や、他の盛土箇所が不安定となり崩壊する危険性が考えられる。現状でも大量の降雨により盛土部が不安定化している可能性がある。
- 緊急的な対策として、林道盛土部の点検、監視体制の整備、砂防堰堤の除石が考えられる。

